



Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校
H28 学校だより No. 19

平成 28 年 9 月 2 日（金）発行

全校集会(8月31日)の校長講話

校長 加藤 徹男

夏休みが終わりましたが、皆さんにとって、どんな夏休みだったでしょうか。私のところには、夏休み中に怪我をした生徒がいるという報告が届いていますが、それ以外の生徒については、無事に夏休みを過ごしてくれたものと安心しています。

さて、今年の夏には、リオデジャネイロオリンピックが開催されました。今回のオリンピックでは日本の選手が過去最高となる 41 個のメダルを獲得するなど、いろいろと話題の多い大会だったように思います。そこで、今日はオリンピックに関連して、私が感じたことを 2 つ皆さんに話したいと思います。

まず一つ目は、良いライバルに出逢うことの大切さについて話したいと思います。今回、競泳男子の 400 メートル個人メドレーで、萩野公介選手が金メダル、瀬戸大也選手が銅メダルを獲得しました。オリンピック開始前にNHKの特集番組で 2 人のライバル関係が紹介され、競技が終わった後も、いろいろなところで話題になっていましたので、よく知っている人も多いと思います。

ライバルが競い合うことで互いに実力を伸ばしていったという話は、スポーツの世界では比較的良好に知られています。でも、勉強についても同様のことが言えます。高校 3 年生の秋になってしまうと、あまり効果はないかもしれませんが、まだ周りの人が大学受験への意識が弱い高校 2 年生の前半や高校 1 年生の頃から、競争相手を見つけて互いに競い合うことで、成績が伸びていったという例がしばしば見られます。周りの人がのんびりと過ごしていても、ライバルと競い合うことで、互いに刺激しあいながら頑張ろうという意欲を持続させることができるわけです。進路指導担当の先生方の話で、6 年生の皆さんは、「受験は団体戦」とか「勉強する仲間作りが大切」ということを聞いたことがあるかもしれませんが、同じような意味があります。これは、当然、前期課程の皆さんにも当てはまる話です。お互いに高い目標をもって、競い合い、励まし合いながら、いっしょに勉強できるような良いライバルを皆さんにも見つけてほしいと感じました。

二つ目は、全力を出し切ること、限界まで挑戦することの大切さについて話したいと思います。今回のオリンピックでは、シンクロナイズドスイミングのデュエットとチームでそれぞれ銅メダルを獲得しましたが、シンクロ日本代表のヘッドコーチを務めていた井村雅代さんのインタビューの中で、次のようなコメントがありました。井村さんは日本代表のコーチに復帰した 2 年前を振り返り「そのときの選手は、『ゆるキャラ』ばかりだった」と言われました。「みんなと一緒にいることが大好きで、みんなから飛び出ることを嫌う。本気でやって負けたら傷つくからと本気で取り組まない。」選手たちのそんな特徴をまとめて『ゆるキャラ』と表現したようです。実は、2013 年の世界選手権で瀬戸大也選手に敗れ、不調に苦しんでいた頃の萩野公介選手が似たようなことを語っていました。レース前に弱気になったときの心境について「頑張って、真面目にやって負けるのは嫌だし、頑張りがたくない」と考えていたのだそうです。確かに今の若者に特徴的な考え方なのかもしれないと感じました。

皆さんは、日頃の生活の中で、全力で挑戦している場面がどのくらいあるでしょうか。皆さんは「限界まで挑戦して倒れるのは格好悪い」と思いますか？確かに、毎日毎日、限界まで出し切っていたら体がもたないことは間違いありません。しかし、若い人はこれからまだまだ力が伸びていきます。技術も向上していきます。格好悪くても限界まで挑戦してみると弱い自分と否応なしに向き合います。そして、次は格好悪くならないように更に力を付けようとして、何かを工夫して倒れないようにしたりしようと考えます。そういったことを繰り返していく中で、壁を打ち破ることができて、これまでの限界より更に力がついていくのです。「Be an ACE!」を掲げ、将来リーダーとして活躍しようとする人が「自分が今できることしかない」とか、「安全な範囲でだけ行動する」といった態度でいたら、果たして自分の殻を打ち破ることができるでしょうか。皆さんには、いろいろな場面において全力で挑戦する場面を作ってほしいと思います。

さて、学校はこれから一学期のまとめの時期となります。これから冬休みまでの 4 ヶ月間は、学習にも適した季節となります。また、チャレンジウォークや文化祭、創立十周年記念式典など、いろいろな学校行事が予定されています。皆さん一人ひとりがしっかりと目標をもって、充実した学校生活を過ごしてほしいと思います。

前期課程 1学期期末考査の日程

前期課程の1学期の期末考査を以下の日程で実施します。生活面、家庭学習面において、早めに夏季休業中のリズムから日常のリズムに戻すことが大切です。

考査日	時間	1年	2年	3年
12日(月)	1限	保健体育	保健体育	保健体育
	2限	技術家庭	技術家庭	家庭
	3限から普通授業			
13日(火)	1限	国語	社会	理科
	2限	英語	数学	社会
	3限	理科	英語	国語
	終学活・ランチあり、12:15にランチ終了で下校			
14日(水)	1限	数学	国語	英語
	2限	社会	理科	数学
	3限から普通授業			

異学年交流(縦割り班活動)「第1回座談会」がありました

8月31日(水)の全校集会後、異学年交流「第1回座談会」がありました。これは、異学年との交流を通してリーダーシップやコミュニケーション能力を身につけ、直江津中等らしさを作り出し、伝統を引き継いでいくことを目的としています。1年生から5年生までが異学年の小グループをつくり、自己紹介や文化祭の思い出、文化祭の取り組み方について後輩に伝えたいこと、文化祭について先輩に聞きたいことなどを語り合いました。一般の学校の中学校1年生から高校2年生が小グループで語り合うことは、なかなかできないこと。これはまさに中高一貫校ならではの活動です。先輩の話に熱心に耳を傾ける姿、後輩に熱く語る姿など、生徒たちの生き生きとした姿に感心しながら見ていました。座談会を生かし、文化祭を通して成長していく生徒の姿が楽しみです。



4年生 田中修太さんが快挙! ~JOCジュニアオリンピックカップ優勝(2連覇)~

4年生の田中修太さんが、富山県で先月に行われたJOCジュニアオリンピックカップスポーツクライミング男子ユースAで優勝し、2連覇を果たしました。また、第37回北信越国民体育大会山岳競技少年男子でも、総合、リード競技、ボルダリング競技で優勝しました。日頃の努力の成果が報われ、本当におめでとうございます。田中さんは今後、国際大会での活躍も期待されます。

今後の予定

- 9月 5日(月) 前期考査前部活動停止(9月13日まで)
- 6日(火) 海外研修オリエンテーション(4年生) チャレンジウォーク保護者ボランティア事前説明会
- 7日(水) 前期合同新人水泳大会 思春期講座(4年生) カウンセラー来校日(午前)
- 8日(木) 英語検定申込日
- 9日(金) 頸北地区PTA懇親会
- 10日(土) 看護医療模試(6年生)
- 12日(月)~14日(水) 第1学期期末考査(前期生)
- 16日(金) チャレンジウォーク

